



学校だより No. 8
青森市立佃小学校
令和4年10月28日発行
◆教育目標◆
あかるく・かしこく・たくましく

全校児童数464名
男子 228名
女子 236名

学習の成果 発表できたでしょうか ～学習発表会～

校長 山田 彰利

学習発表会に際しては、座席指定・学年毎の入替えというご協力をいただき中、たくさんの方のご来場と温かい拍手をありがとうございました。おかげさまで、子供たちにとって貴重な一日となりました。マチコミメールでも配信しましたが、お気づきの点がございましたら、何なりとご意見をいただければありがたいです。よろしくお願ひいたします。

さて、学習発表会のねらいについては、プログラムの挨拶文でも触れましたが、皆様から見ていかがでしたか。まず一つ目。恥ずかしがらずに、一生懸命、堂々と演技したり声を出したりできたでしょうか。二つ目。友達と協力したり、友達の頑張りを素直に認めたりという姿が見られたでしょうか。三つ目。「自分もなかなか頑張ってるじゃん」と自分を認めることができたでしょうか。



練習を始めたばかりの頃は、自信なさそうにもじもじしていた子や出番を間違えて困っていた子もいましたが、堂々と立派に演じることができました。子供たちの成長には驚かされるばかりです。練習中、決して楽しいときだけではなくはなかつたはず。自分の希望の役にたてなかつた子、舞台上で注目されるのが苦手な子…。でも、なんとか乗り越えて、学年として一体感のある発表を作り上げることができました。

学習発表会の朝、「今日は感動させるからね」と言って家を出た6年生の子がいたそうです。また、終了後、帰りに会った5年生に「日に日に上達してたね。」と言うと「昨日の練習の時の方がよかったよ」と…。自分だけでない、全体のできばえに手応えをもっている6年生。また、当日だって精一杯のすばらしい演奏だったにもかかわらず、より高い姿を客観的に捉える事ができている5年生。いずれも高いレベルでねらいを達成できたと言えます。



学習発表会三つのねらいについては、普段の教育活動の中でも目指しているものですが、学年の作品を全員で作りに上げるという実際の体験だからこそ、より身に付くと考えています。そしてこうした力はどれも、社会に出ても必要な資質・能力です。

「キャリア教育」という言葉、お聞きになったことがあるかと思います。「社会的・職業的自立に向け、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく資質を育む教育」とされており、中学校では職業体験などが行われています。小学校でも必要とされていますが、子供たちの育っている姿を見ていると、学習発表会に向けた練習は、まさにキャリア教育といってもよいのではないかと思います。